

## 飯田市立遠山中学校 2 年生への感想

〔生徒の皆様へ〕

- 学有林学習という言葉は初めて聞きました。学有林学習とSDGsの目標との関係等も具体的に示されていて理解しやすかったです。また地域の方々とも積極的に交流活動をされていて、地域の方々から学ぶ活動というのも充実されていてとてもいい環境が整備されているなど感じました。
- 学有林における間伐や枝打ち、ベンチの作成や工場見学を通しSDGsとの関わりを深めており、とても重要な学習だと感じた。また、学有林の整備を活発にするために道を作成する活動を通じ、林業は森全体を作る業種だと知ることができた。引き続き身のある活動を行い、学習を頑張ってください。
- 森林体験から、木の魅力や道づくりの大変さを学習していてすごいと思いました。また、これらの学習をSDGsとつなげて考えていることも素晴らしいことだと思いました。加えて、木のサイクルを見出し、解決策も最後に出していたことも良いと思いました。ぜひ、活動を続けていってください。
- 学有林学習で、間伐することの見学と伐採について学んだことを知った。木が健康に育つためには、間伐で日当たりを良くするなどの定期的な人の手による手入れが必要であることが分かった。SDGsの観点から、木について考えていたのが面白かった。
- 学有林学習は、普段感じる事ができていなかった作業の大変さや感謝の気持ちを感じる機会となっており、実際に体験するという事は非常に大切なことだと思いました。また、遠山中学校の方々の発表を聞き、地域の木を使うことの重要性に改めて気が付きました。学有林の木を使って作るものがいくつか決まっているようだったので、頑張ってほしいなと思いました。
- 発表資料から、本当に森林のような学有林で驚きました。私の学校にはないものなので、素晴らしい地域だと初見で思いました！森林管理の職業は現在、深刻な人手不足で人材の成り手がないことで、公共事業になっている現状があります。最後のまとめにある通り、サイクルを保つためにも「木を育てる人」を育成するためにも、この活動を一回で終わるのではなく、継続して行なって欲しいです！発表ありがとうございました！
- 学有林に関連することについて深く学ぶことで、木の循環などの「循環」についての学びに繋がっていたところがすごいと思いました。また一つ一つの活動をSDGsの中のどの活動にあたるのか考えていた部分も、様々な視点で見たり考えたりするために必要だと思うので、続けてほしいと思いました。また発表以外のことで、質問への返答がとてもはきはきと端的に答えていてすごいと思いました。自分たちがわからない部分も適当な返事をせずに正しい回答をしようと心がけているところも良いと思いました。
- 地域に根付いた産業について体験し、学習することは素晴らしいと思いました。学んだことをSDGsと絡めながら学習を進めているのは環境や社会に貢献したいという意識の表れだと感じました。今後の活動を期待しています。
- 間伐している様子や、加工した木材を使った工芸品、道づくりの様子から身近なものへの感謝へ繋がった経験はとても貴重なものであると感じます。学んだ知識をこれからの生活やSDGsの周知にさらに役立っていくものであると感じました。

- 学有林・森林について考えることで、SDGsの様々な目標に関わってくるということ、学ぶことが出来ました。実際に道づくりを行っていくことで、当たり前を感じていたことがそうじゃないということに気付くことが出来たのです。育てる、作る、売る、育てるという循環が継続できれば環境保全にもつながると思うし、ベンチなどを座る人同士の輪が広がって環境だけでなく、人間関係の面でも住み続けやすい街づくりにつながるのではないかと発表を聞いて思いました。ベンチ以外にも地域の人々が求めるものを木材で作ってみるともったいいのではないかなと思いました。
- SDGsと森林の活動について、うまく結びつけながら活動について学んでいて、とても良いと思いました。とくに学有林をもさらに豊かにしていくために、学有林の木を使って教科書が入る棚や机、さらに自分の地域の人たちが必要なものについて制作しながら、住み続けられる街づくりに取り組んでいこうとする姿勢がとても素敵だと思いました。
- 学有林があるの、すごいですね！遠山中の魅力の一つですね。また、みなさんの学有林を通して学んできたこと一つ一つがとても深く、学びへの姿勢を私も見習いたいと思いました。発表の中で印象に残った言葉があります。道づくりでの「道には必ず作った人がいて、使いやすいように整備してくれていることを改めて感じた」という言葉です。自分で実際に作り、その苦労を、身をもって知った人でないといえない言葉だと思います。すごく重みがあるなと思いました。この先も学有林での学びは続くと思いますが、今後の学習がどうなっていくのか、私まで楽しみになる発表でした。
- 道づくりという活動があることを初めて知りました。写真からは本当に険しいところで行う、危険を伴い大変な仕事だということがわかりました。この貴重な体験を、忘れず様々な人に感謝して生きていってほしいなと思います。私自身も改めて様々な人に感謝しなければならないなと感ずることができました。

〔教職員の皆様へ〕

- 学有林への具体的な行動提案やSDGsへの関連性の考慮は素晴らしいです。具体的なアクションの提案があることは、アイデアが実現可能であることを示していて良いと思います。また、学校生活に必要なものを製作するアプローチは、地域資源の有効活用とSDGsの目標に貢献する側面があり、非常に賢明な取り組みと感ずます。これらのアイデアが実践に繋がり、学校や地域全体にポジティブな影響をもたらすことを期待しています。
- 学有林があることに魅力を感じました。きっと管理など大変だと思いますが、自分たちの山があるということはすごいことで、その特色を生かした実践も行われていて、先生方の実践力のすごさを感じました。学有林があるということは、活動が校内で完結させることもできるのかと思いますが、学校を飛び出し、学びのフィールドを地域へと広げることで、実社会の問題を考えることができるのだと思います。SDGsという抽象的なものを、身近なものを通して自分事として考えている子どもたちの姿がとても素敵でした。
- 今回の発表を伺う中で、一言に学有林学習といっても林に関する多種多様な学習が行われていることが非常に印象的でした。これまで先生方の異動がありつつも継続されてきた経験による部分も大

きいとは思いますが、実際に学有林に入り、自分の目で見て体感する機会があることは生徒の皆さんにとっても貴重な経験なのではないかと思います。また、木材流通センターの見学や学有林の整備など、日々の生活で使用しているものの製造段階や整備の様子について学ぶ機会があることも、発表の中でお話しされていたモノの循環に対する意識がより育まれるきっかけになっているのだろうと感じました。もし機会があるのであれば、先生方が学有林学習に向けてどのような準備をされているのか、どのような願いのもと学有林学習を設定されているのかお伺いしてみたいと思っております。この度はありがとうございました。